



牛島小学校 校長室便り



吉野川市立
牛島小学校 校長室

R 4. 9. 8

新型コロナウイルス感染症感染拡大の第7波が収まらない中、第二学期が始まりました。「徳島BA5強化宣言」が延長される中、引き続き感染症対策を徹底し、日々の教育活動に取り組みんでいます。

一人一人が輝く教育活動をめざして

一学期に引き続き、「よく考えること」「自分と友だちを大切にすること」を始業式で話しました。特に「自分と友だちを大切にすること」は、具体的にどうすればよいかを考えて行動に移してほしいと思います。

「あなたのようにところは、どんなところですか」と聞かれ、自信を持って言える子もいれば、自分のよいところに気付かず迷ってしまいう子も少なくありません。みんなそれぞれに必ずよさがあります。自分が頑張っていることが周りに認められることで、自分のよさに気付く意欲の高まりにつながっていきます。友だちの心温まる一言で互いの心が動きます。友だちのよさをみつけ伝え合うことで、学級や学校が、互いに高め合える居心地のよい温かい場所にしていきたいと考えています。

二学期は、運動会や修学旅行、遠足などたくさん学校の行事を計画しています。様々な活動の中で、子ども達の力が十分に発揮され、さらに成長できるように支援していきます。

ポジティブな行動支援で 元氣あふれる学校に

ポジティブな行動支援とは、ポジティブな行動をポジティブに支援していくことです。望ましい行動が起こりやすい環境をつくり、子ども達が認められる経験や成功体験を積み重ねることができると、自信を持って行動することができます。

一学期には、「廊下や階段を歩こう」と「トイレのスリッパをならべよう」を校内の共通の目標として取り組み、子ども達の行動や意識の変化が見られました。一人一人の望ましい行動が学校全体へと広がっていきました。



また、学級の中でもそれぞれの目標達成に向けて、ポジティブな行動支援を心がけて、子ども達が自ら進んで行動できるよう賞賛し、支援しています。

自分の行動を賞賛されることで落ち着いた態度で学習や運動などにやる気を持って取り組み、それが全体の力となって元氣あふれる学校にしていききたいと思います。

夏休み体験発表会

夏休みに課題として取り組んだ自由研究の校内発表会を行いました。全校が集まった発表会ではできなかったため、各クラスで発表した後、代表が発表する様子を撮影し、各クラスで視聴します。

普段、学校生活では体験できないような実験や観察、屋外での体験など有意義な活動ができており、どの子も堂々と発表ができました。ご家庭でのご協力大変ありがとうございました。



九月一日「防災の日」にあわせて

八月三十日に、地震を想定した避難訓練を行いました。地震発生の知らせとともに子どもたちは、命を守る行動ができ、速やかに避難することができました。避難後に「自助・共助」について話をしました。

今回は、授業中の避難でしたが、今後いつどこで発生するか分からない有事の際に備えて、休み時間や登下校時の命の守り方についても体験できるようにしていきます。

ご家庭でも、有事に備えて家族が避難する場所や備蓄品などについて、お子様とお話してください。

また、今年度より学校での備蓄品として、子どもたち一人一人に水（ペットボトル）と非常食（おにぎり）を購入させていただきました。



放課後陸上練習

十月に行われる市小学校陸上運動記録会に向けて、放課後練習を開始しました。コロナ禍のため、開催を見合わせていた記録会等も再開されつつあります。残暑の残る中、子どもたちはそれぞれに目標を持って各種目の練習に一生懸命に取り組んでいます。

全力で走り抜ける姿はとても輝いています。

近年、コロナ禍にあわせて熱中症対策のより、子どもたちの運動できる機会が減少しており、体力の低下が課題となっています。

今後は、体を動かす機会を増やすために、学校でも外遊びを推奨したり、運動できる時間を増やしていきたいと思えます。ご家庭でも休日等にしつかり体を動かして、成長期の大切な時期を心身ともにたくましく過ごせるよう声かけをお願いします。



アルミ缶回収活動

毎月第一水曜日に行っているアルミ缶回収活動では、毎回ご家庭や地域の皆様にご協力をいただき、たくさんの方のアルミ缶が集まっています。

一学期には、合計17,260グラムが集まりました。九月には、12,670グラムを回収することができました。収益は、ボランティア活動や学習活動に大切に使用させていただきます。ご協力大変ありがとうございます。



